

システムリカバリオプション修正モジュール適用手順

修正モジュールの適用手順を以下に記載致しますので、適用手順に沿って修正モジュールを適用してください。

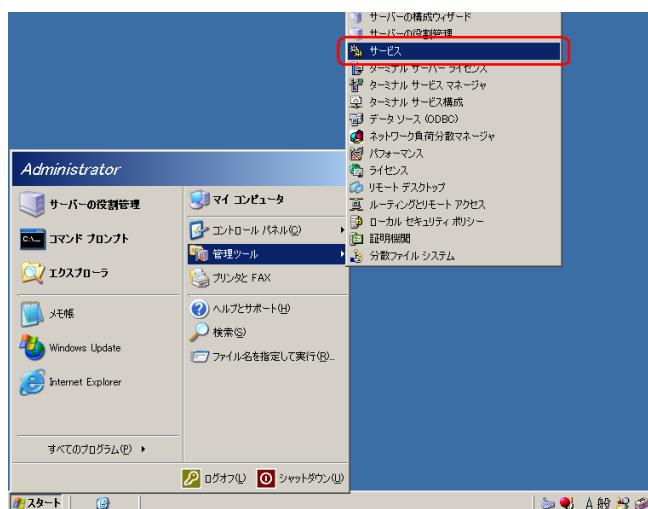
※ Windows NT Server 上にシステムリカバリサーバを構築されている場合は、後述の『Windows NT Server』の手順に沿って作業を行ってください。

【Windows 2000 Server, Windows Server 2003(R2 含む), Windows 2000 Professional Windows XP Professional】

1. 管理者権限を持ったユーザアカウントを使用して、システムリカバリサーバにログインします。
2. 入手した修正モジュールをシステムリカバリサーバ上にコピーし、ダブルクリックして解凍してください。成功すると以下のファイルが展開されます。

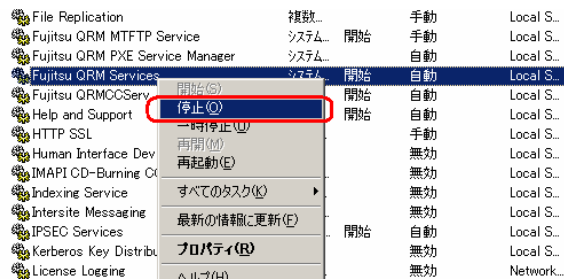
ファイル名：QRMDB.DLL

3. [スタート]メニューから[管理ツール]を選択し、表示されるサブメニューの中から[サービス]をクリックします。



スタートメニューに「管理ツール」が表示されていない場合、「ファイル名を指定して実行」で”services.msc”と入力してOK ボタンをクリックすることで「サービス」管理コンソールを起動することができます。

4. 「サービス」管理コンソールが起動します。
5. 「サービス」管理コンソールウィンドウの左ペインに表示されているサービス一覧の中から、『Fujitsu QRM Services』サービスを右クリックします。
6. 表示されるコンテキストメニューから[停止]を選択してサービスを停止させます。



正常にサービスが停止すると、『Fujitsu QRM Services』サービスの「状態」欄が「開始」から空欄に変更されます。

7. 同様の手順で、以下の3つのサービスを停止させます。

- ・ Fujitsu QRMCCServ
- ・ Fujitsu PXE Service Manager
- ・ Fujitsu MTFTP Service

※『Fujitsu QRM Services』を停止させると自動的に『Fujitsu MTFTP Service』が停止します。

『Fujitsu QRMCCServ』を停止させると自動的に『Fujitsu PXE Service Manager』が停止します。

8. 以下のファイルを、リネーム等行いバックアップを行ってください。

『%システムリカバリオプションインストールフォルダ%\¥Server¥』配下の
QRMDB.DLL

9. 2で解凍しました、修正モジュール(QRMDB.DLL)を以下のフォルダにコピーしてください。

『%システムリカバリオプションインストールフォルダ%\¥Server¥』

(ご参考)

システムリカバリオプションインストール時に、インストール先として D:\¥QRM を指定している場合は、

D:\¥QRM¥Server フォルダになります。

10. 「サービス」管理コンソールから手順6、7で停止させた4つのサービスを開始させます。

「サービス」管理コンソールで、停止させたサービスを右クリックし、表示されるコンテキストメニューから[開始]を選択してサービスを開始させます。



正常にサービスが開始すると、サービスの「状態」が空欄から「開始」に変更されます。

※『Fujitsu QRM Services』を開始させると自動的に『Fujitsu MTFTP Service』が開始します。

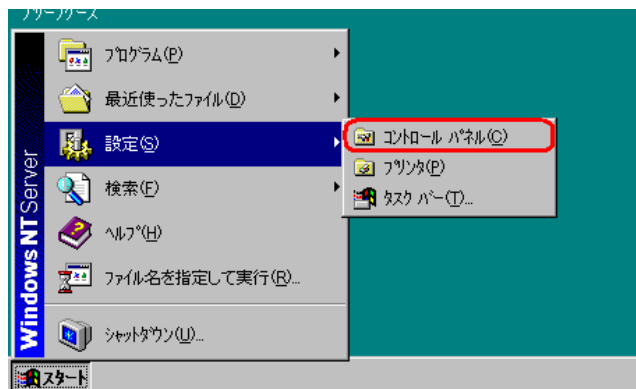
『Fujitsu QRMCCServ』を開始させても自動的に『Fujitsu PXE Service Manager』は開始されません。『Fujitsu PXE Service Manager』は上記手順にならって個別に開始してください。

以上で修正モジュールの適用は完了です。

【Windows NT 4.0 Server】

1. 管理者権限を持ったユーザアカウントを使用して、システムリカバリサーバにログインします。
2. 入手された修正モジュールをシステムリカバリサーバ上にコピーし、ダブルクリックして解凍してください。成功すると以下のファイルが展開されます。
ファイル名：QRMDB.DLL

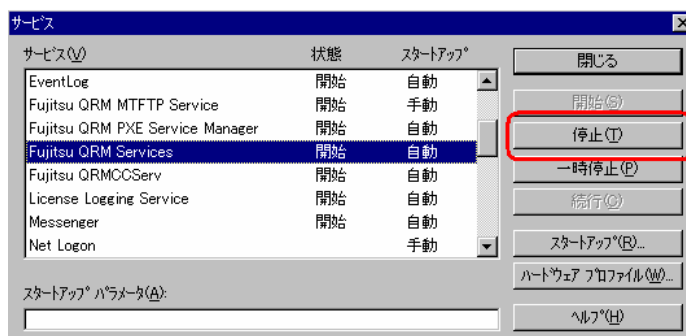
3. [スタート]メニューから[設定]を選択し、表示されるサブメニューの中から[コントロールパネル]をクリックします。



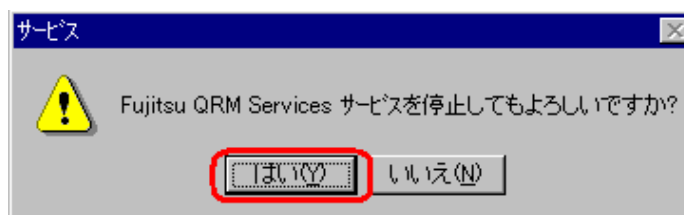
4. 「コントロールパネル」ウィンドウが開きますので、「サービス」アイコンをダブルクリックします。



5. 「サービス」ウィンドウが開いたら、表示されているサービス一覧の中から、『Fujitsu QRM Services』サービスを選択して「停止」ボタンをクリックします。



6. サービスを停止してもよいかどうかを確認するダイアログボックスが表示されるので、「はい」ボタンをクリックしてください。



正常にサービスが停止すると、『Fujitsu QRM Services』サービスの「状態」欄が「開始」から空欄に変更されます。

7. 同様の手順で、以下の3つのサービスを停止させます。

- ・ Fujitsu QRMCCServ
- ・ Fujitsu PXE Service Manager
- ・ Fujitsu MTFTP Service

※ 『Fujitsu QRM Services』を停止させると自動的に『Fujitsu MTFTP Service』が停止します。

『Fujitsu QRMCCServ』を停止させると自動的に『Fujitsu PXE Service Manager』が停止します。

8. 以下のファイルを、リネーム等行いバックアップを行ってください。
『%システムリカバリオプションインストールフォルダ%\¥Server¥』配下の
QRMDB.DLL

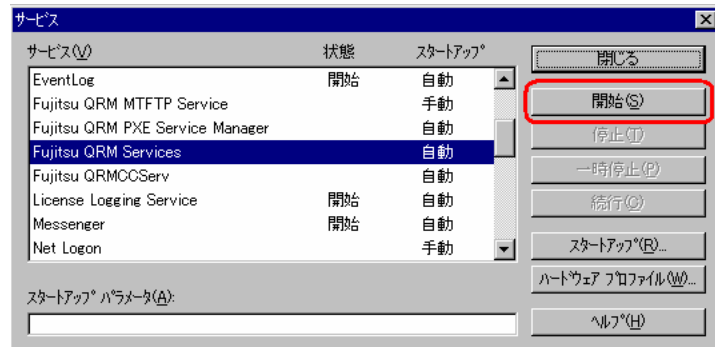
9. 2で解凍しました、修正モジュール(QRMDB.DLL)を以下のフォルダにコピーしてください。
『%システムリカバリオプションインストールフォルダ%\¥Server¥』

(ご参考)

システムリカバリオプションインストール時に、インストール先として D:\¥QRM を指定している場合は、D:\¥QRM¥Server フォルダになります。

10. 「サービス」 ウィンドウから手順 6、7 で停止させた 4 つのサービスを開始させます。

「サービス」 ウィンドウで、停止させたサービスを選択し、[開始]ボタンをクリックします。



正常にサービスが開始すると、サービスの「状態」が空欄から「開始」に変更されます。

以上で修正モジュールの適用は完了です。

以上